

Tissue Proliferation



Flapless vs Flap



Veneer Graft

審美領域における インプラント治療を考える

成功に導くための位置と時期

著：小川 勝久

(小川歯科・天王洲インプラントセンター)

A4変型判 オールカラー

144ページ 上製本 カバー

ISBN978-4-901894-55-5

定価 14,700円

(本体 14,000円+税)

拔牙即時埋入



Sockets Preservation



Roll Technique



GBR CTG

第I章 基本的事項から考える

1. 審美歯科とインプラント治療について
2. インプラントの種類と形状から学ぶ
3. 審美領域での埋入方法と位置
4. デジタルレントゲンやCTを応用した診断とインプラント埋入術式
5. 骨移植と各種移植材
6. 軟組織のマネージメント

第II章 臨床ケースから考える

1. 上顎中切歯1歯欠損インプラント—歯肉形態の獲得のためのプロビジョナルクラウン
2. 上顎中切歯拔牙即時埋入インプラント—ハイスキャ

ロップでの取り組み方

3. 上顎側切歯の歯根破折にTissue Proliferationテクニックを応用し、拔牙即時インプラント埋入をおこなったケース
4. 上顎側切歯1歯欠損へのインプラント—吸収した骨・軟組織への対応
5. 上顎左右中切歯欠損への2本のインプラント—インプラント—インプラント間の距離と位置の応用
6. 下顎側切歯部の進行した歯周病へのインプラントの応用
7. 審美領域における即時機能—拔牙即時埋入、骨移植、即時機能（プロビジョナルクラウン）の適用
8. フラップレスでのインプラント埋入

9. 上顎4前歯欠損への4本のインプラント—ソケットプリザベーションの応用

10. 矯正技法を応用したインプラント治療
11. 3歯に矯正技法を応用したインプラント治療
12. 失敗症例から考える
ケース1 インプラントの除去を余儀なくされた症例
ケース2 インプラント—インプラント間の問題
13. 上顎前歯4歯欠損へ3本のインプラントとオペイトボンテックを応用し、機能性と審美性を回復したケース
14. 重度の歯周病に対するインプラント治療—機能性と審美性の追求



症例 13. 上顎前歯部4歯欠損へ3本のインプラントとオベイトボンティックを応用し、機能性と審美性を回復したケースより

上顎前歯部のブリッジは脱離し、支台歯の右側中切歯には歯根破折が認められ、左側側切歯では骨縁下に及ぶ軟化牙質がみられ、さらに右側側切歯の長いコアと根管治療の不備により、患者さんは違和感を強く訴えていた。



症例 6. 下顎側切歯部の進行した歯周病へのインプラントの応用 より
下顎前歯部へのインプラント治療は隣接歯根との距離が短く、また顎骨の幅が狭いため、インプラント埋入時に隣接歯根へ損傷を及ぼすリスクが高いことから、適応するインプラントの形状やサイズの選択、埋入位置への設定に正確さが強く要求される。



症例 4. 上顎側切歯1歯欠損へのインプラント—吸収した骨・軟組織への対応 より

5年前に事故にて上顎右側側切歯を喪失。このケースでの問題は大きく2つある。1つは、インプラント治療に必要な“骨量の回復”であり、2つ目は“審美性の回復”である。この審美性の回復とは、当該部をただ単にセラミックにすることではなく、歯間乳頭を含めた歯周組織からの審美性の回復である。



CT像や光造形模型による診断を応用した症例 より

この症例は審美領域でもあり、咬合に大きな影響を与える犬歯部に大きな骨欠損を持つことから、スタディーモデル、CT画像、3Dイメージ画像、SimPlantによるシミュレーション等に加え、実寸大の光造形模型を用いて最終補綴の咬合の安定と審美性の獲得のための骨移植量を検討した。

症例 14. 重度の歯周病に対するインプラント治療—機能性と審美性の追求 より

インターネットでの治療相談でご自身の悩みをご相談され、来院された。初対面での印象は、マスクをして顔を伏せていて、不安で全身を覆っているかのような状態であった。重度の歯周病に罹患しているが適切な治療や衛生指導を受けていないため、口腔内環境はきわめて不良な状態であり、精神的なケアの必要性からカウンセリングにおいても患者さんのお気持ちや今までの医療の経緯を十分に察し、慎重にお話を伺いながら治療方法を模索した。

審美領域におけるインプラント治療を考える 冊

お名前

TEL

ご住所

●お取扱いは

●発行 砂書房